

2021年9月27日

各位

会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 小林 茂  
(コード：4583 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役経営企画室長 美女平 在彦  
(TEL. 03-6383-3746)

## がん治療用候補抗体 CBA-1535 に関する中国における特許査定についてのお知らせ

このたび、当社で開発を進めているがん治療用候補抗体 CBA-1535 に関する特許出願について、中国における特許査定通知を受領いたしましたので、お知らせいたします。

本特許は多重特異性抗体 Tribody™ 技術を活用し創製したがん治療用候補抗体 CBA-1535 に関連する特許です。現在、欧州などで特許を出願中であり、これまでに日本、英国、米国で特許が成立しております。本特許査定は CBA-1535 の開発および導出活動を支える知財基盤を強化するものであると考えております。

【発明の名称】 5T4 及び CD3 に対する 3 つの結合ドメインを含む融合タンパク質  
【特許出願番号】 201580076505.9  
【特許権者】 株式会社カイオム・バイオサイエンス

本件が 2021 年 12 月期業績に与える影響はありません。

### < CBA-1535 について >

CBA-1535 は 3 つの抗原結合部位のうち、2 つは多くの固形がんにて発現がみられるタンパク質 5T4 に結合し、残りの 1 つが免疫細胞である T 細胞上のタンパク質 CD3 に結合する、Tribody™ 技術を用いて創製されたがん治療用候補抗体です。CBA-1535 は患者が元来保有している免疫機構を司る T 細胞の働きを促進することでがん細胞を攻撃します。想定される適応疾患としては、悪性中皮腫、小細胞肺がんや非小細胞肺がんなどのアンメットニーズが高い領域での開発が期待されます。現在、当初計画していた英国での治験ではなく、新型コロナウイルス感染症の開発への影響が相対的に少ない日本国内での治験申請も検討しております。なお、治験申請の時期は 2021 年末から 2022 年前半を想定しており、現在、CMC 開発を進めております。

### < Tribody™ 技術について >

Tribody™ は分子工学的手法により作製した複数の抗原に対する特異性を持つ多重特異性抗体で、1 つの分子の中に 3 つの異なる抗原結合部位があり、異なる機能を組み合わせることができます。例えば、結合部位の 1 つは T 細胞や NK 細胞のような抗腫瘍活性を有する免疫細胞(エフェクター細胞)をがん細胞へ誘導するように設計し、残りの 2 つの結合部位ががん特異的抗原の異なるエピトープに結合、または、同じがんにて発現している異なる抗原を認識するように設計することが可能です。そのことにより安全性及び有効性の高い抗体医薬品の開発が期待されます。Tribody™ 技術にかかる商標として Trisoma® が登録されております。

以上